

グローバル・カフェ×香川大学将棋部「将棋体験教室」を開催しました

2024年1月23日（火）18時から、香川大学将棋部と「将棋体験教室」を共催しました。日本人学生8名、留学生6名、教職員4名の計18名が参加しました。

参加者は3グループに分かれ、各グループに、将棋部が持参した将棋マットと駒が貸し出されました。日英で作成した説明資料が配布され、資料を基に駒一つ一つの名前と動きや、駒が敵陣に入ると裏返され、「成る」ことでその名前や可動域が変わることなどの説明がありました。その後、「詰将棋（つめしょうぎ）」と呼ばれる将棋を使ったパズルを行いました。モニターに表示された詰将棋の問題を、机上の将棋盤に並べ、グループごとに協力しながら計5問を解きました。徐々に問題の難易度が増しましたが、将棋部員の丁寧な解説もあり、問題を終えるごとに将棋への理解が深まった様子でした。



最後に将棋に関するトリビアクイズが出題されました。「江戸時代に楽しまれていた大局将棋では、駒はいくつ使用されていたか？」「藤井聡太さんは現在将棋のタイトルをいくつ持っているか？（現在タイトルは8つあります）」などの問題に挑戦しました。

[クイズの答えはこの報告書の最後]

今イベントの開催に至った背景に、2023年5月に来学したコロラド州立大学の学生が、「将棋を知りたい」と将棋部を訪問したことがあります。留学生に将棋の説明をするにあたって、資料作成とルール解説を英語で行うこととなり部員一同戸惑ったものの、将棋を通して留学生と交流を深められ、留学生にも大変喜ばれたそうです。その経験を活かして、将棋が国際交流のきっかけになればという将棋部員の思いが実現する形となりました。近い将来再び将棋部と共催できることを期待します。コロラド州立大学学生の来学についてはこちら。

[香川大学 :: May 22 コロラド州立大学学生歓迎イベント \(kagawa-u.ac.jp\)](https://www.kagawa-u.ac.jp/)



今回のイベントは1月30日（火）に留学報告イベント（台湾・国立政治大学編）です。2022年9月から2023年7月の10か月間、国立政治大学（台湾）へ留学された馬場さん、土壁さん、村上さんをお招きし、現地での授業の様子や生活について紹介していただきます。※イベントは日本語で実施します。

トリビアクイズの答え「大局将棋の駒は804枚」「藤井さんは8タイトル全てを獲得」